

第一弾

汚染物封じ込めで 地質汚染は大丈夫か!?

豊洲新市場の建屋内で土壌汚染対策の盛土がされていなかったことの発覚に端を発し、小池新都知事のリーダーシップで市場移転について貴重な再検討が行われてきましたが、今年10月11日には移転すると公表されるに至りました。

しかし、検討中も継続して行われてきた調査では敷地内に環境基準値の最大160倍に当たるベンゼンなどの有害物質が検出されるなど、土壌中にベンゼンや水銀等の有害物質は完全除去されておらず、現段階では、対策の柱であった地下水管理も制御できていません。

盛土することを前提としていた環境影響評価手続きの不備の問題も解決済みとはいえません。

コンクリート床で地下にフタをするとはいえ、コンクリートの経年劣化や起こりうる首都圏直下型地震、地層の液状化・流動化や地波現象の影響も懸念されます。

持続可能なまちづくりをめざすSDGsの視点からも、市民が望むのは、安全・安心な新市場に他なりません。10月移転を前に、改めて専門家を交えて検討したいと思います。

【特別講演】 楡井 久さん

「単元調査法から見た豊洲新市場の地質汚染問題」

【基調報告】 水谷 和子さん

「建築士から見た豊洲新市場問題」

【問題提起】 藤原 寿和

「有害物質による将来的な健康影響のおそれ」

【実行委員長】 寺西 俊一

【コーディネーター】 石井 徹 (朝日新聞社編集委員)

2018年5月19日(土)

13:30 開場受付

14:00 開会 16:30 閉会

会場: 朝日新聞社東京本社 2階 読者ホール

参加費: 資料代 500円

主催: 「専門家と市民による築地市場の豊洲移転検証会議」実行委員会

<連絡先> Tel: 080-4868-7388 藤原 E-mail: QZG07170@nifty.com

後援: 内閣府認証NPO法人日本地質汚染審査機構

豊洲移転に関して、
近々、さらに第二弾
集会を開催予定!

<交通機関>

- ・地下鉄大江戸線築地市場駅A2出口下車すぐ
- ・地下鉄東銀座駅、または築地駅下車/徒歩 8~10分
- ・東京メトロ銀座線新橋駅か銀座駅下車/徒歩 13~15分
- ・JR・地下鉄新橋駅下車/徒歩 13~15分
- ・都バス(新橋駅前から朝日新聞前か築地中央市場行き)
 - (1)浜離宮前(新館) (2)本社前(本館) 下車/徒歩 1分

楡井 久さん

地質汚染診断士・地層液流動化
診断士・理学博士
NPO 法人日本地質汚染審査機
構理事長
超党派水制度改革議員連盟水
循環基本法フォローアップ委員
会委員

1940年10月 福島県会津生まれ
76~98年 千葉県地質環境室長
94~96年 京都大学客員教授
茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター長
国際地質科学連合(IUGA)GEM 常任理事など
専門は地質環境学、環境資源学
著書:「地下水資源・環境論-その理論と実践」(共著、共
立出版) など
Medical Geology-A Regional Synthesis- Olle Selinus
et al.(Eds.)
Springer, IYPE(UNESCO & IUGS)(Co-author) など



水谷 和子さん

一級建築士
コアサンプル廃棄差止め訴訟・
公金返還請求住民訴訟 原告
2008年より築地市場移転問題
に関わる
『築地移転の闇をひらく』共著
大月書店
『築地市場の豊洲移転?』共著
本の泉社 『築地移転の謎』弁護団との共著 花伝社



藤原 寿和

実行委員・化学物質問題市民研究会代表
廃棄物処分場問題全国ネットワーク共同代表
止めよう!ダイオキシン汚染・東日本ネットワーク事務局
長 NPO 法人有害化学物質削減ネットワーク理事
千葉県放射性廃棄物を考える住民連絡会事務局長 他

寺西 俊一

石川県生まれ 環境経済学・環境政策論を専攻
一橋大学名誉教授 日本環境会議理事長 『環境と公
害』誌編集代表 環境経済・政策学会会長
日本学術会議連携会員 環境省中央環境審議会専門
委員 東京都環境審議会委員などを歴任

